

とはスポーツの振興を図る上で大変重要であると考えていますので、そのための環境づくりを進めたいと考えています。

また、特徴あるスポーツ振興計画として、住民主導による総合型地域スポーツクラブをスタートさせる計画を進めています。

健 康

問 子宮頸がんは、ワクチン接種で予防できる唯一のがんと言われている。本市では全額助成すると約820万円、半額助成では約410万円とのことだが、実施しようとすればできるのではないか。

答 子宮頸がんについては、ワクチンの接種が有効であるとされていますが、現在国で承認されているワクチンは、子宮頸がんの発生の主な原因である2つのタイプのウイルスの感染を防ぐわけではないようです。

よって、ワクチンを接種しても子宮頸がんを完全に予防することは難しいことから、引き続き子宮頸がん検診の受診促進を働きかけたいと考えています。

また、予防接種の助成についても定期接種ではないことから、接種対象や助成費用の負担等の課題があるため、国や先行自治体の動向を注視しながら研究を進めています。

問 事業の内容は、対象者は、20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の方、1,062人を予定しています。この検査の方法・内容については、保健センター等を会場として行う集団検診のほか、婦人科医院等へ委託し、頸部の細胞診により実施します。

また、乳がん検診事業の内容は、対象者は、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方、1,416人を予定しています。

この検査の方法・内容については、子宮頸がんと同じく保健センター等を会場

問 事業の内容は、対象者は、96・7%の自治体が継続させることができ、本市でも予算が計上されている。今年度の事業内容はどうなっているか。

答 まず、子宮頸がん検診の制定や、それに伴う計画の策定については、今後研究していきたいと考えています。

また、がん対策推進条例の制定や、それに伴う計画の策定については、今後研究していきたいと考えています。

問 70%が防止できるといふことについて、かなり後退的だとのご指摘ですが、單に統計上70%が防止できることであり、決して先送りするなどといった意味合いで申し上げたものではありませんので、ご理解いただきたいと思います。

問 防災行政無線について、デジタル化した後も屋外拡声子局は必要と考えるが、また、デジタル化に伴い文字放送も可能となつたが、聴覚障害者への配慮は。

答 市の野球場やサッカー場、野球ふれあい公園など、管理する職員がその場にはいないがたくさんの市民が利用する施設に、救命装置であるAED（自動体外式除細動器）を設置できないか。

問 防災行政無線について、デジタル化した後も屋外拡声子局は必要とされるが、また、デジタル化に伴い文字放送も可能となつたが、聴覚障害者への配慮は。

答 30か所に設置しており、設置の基本的な考えは、津波対策に12か所、また避難所である小学校、中学校の18か所に設置しました。

なお、避難所へ設置した屋外拡声子局には市役所と

これは、国のスポーツ振興計画にも位置付けられており、いつでも、どこでも、だれでもスポーツができるということをうたい文句に、健康増進を図るもので、現在設立準備委員会を設けて作業を進めしており、本年度末にはスタートできることを考えています。

問 がんの予防について、がん検診により死亡減少効果が60%～80%向上すると言われている。本市のがん検診受診の体制を整えて、がん対策の強化を。

問 県が平成18年に制定した「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」では、意識しているかどうかを問わず、障害者の移動を制限することなどは差別になると定義している。市役所庁舎はじめとした公共施設のバリアフリー化の現状と今後の方針は。

問 市の施設のバリアフリ化について、市役所庁舎、野菜福祉センターなど、一部の施設については車いす専用トイレがないなど、不十分な施設がありますが、比較的新しい施設や改修工事をした野菜総合支所等の施設については、バリアフリー化をしています。

問 障害者福祉施設は、障害者の程度や適正、本人の希望などを考慮して、生活能力向上のための自立訓練施設から、創作活動や生産活動を行う地域生活支援センターまで様々です。

問 市の福祉作業所「ほほえみ園」には、自力通所でいる障害者のみが入所していると聞くが、支援が必要な障害者も入所させることはできないか。

にして行う集団検診のか、市民病院へ委託し、マンモグラフィーにより実施します。

福 祉

問 防災行政無線について、デジタル化した後も屋外拡声子局は必要とされるが、また、デジタル化に伴い文字放送も可能となつたが、聴覚障害者への配慮は。

答 30か所に設置しており、設置の基本的な考えは、津波対策に12か所、また避難所である小学校、中学校の18か所に設置しました。

なお、避難所へ設置した屋外拡声子局には市役所と

問 市の野球場やサッカー場、野球ふれあい公園など、管理する職員がその場にはいないがたくさんの市民が利用する施設に、救命装置であるAED（自動体外式除細動器）を設置できないか。

答 運動施設等に設置できないかとの御提案ですが、まず管理上の問題が生じるとの懸念があります。

ただし、現在はAED付の自動販売機や、広告付

府舎内への車いす用トイレの新設を検討しましたが、スペースの問題もあり、府舎内の新設は難しいと思われるため、今後は、府舎外への設置を検討していくと考えています。

問 市の福祉作業所「ほほえみ園」には、自力通所でいる障害者のみが入所していると聞くが、支援が必要な障害者も入所させることはできないか。

とはスポーツの振興を図る上で大変重要なと考えていますので、そのための環境づくりを進めたいと考えています。

また、特徴あるスポーツ振興計画として、住民主導による総合型地域スポーツクラブをスタートさせる計画を進めています。

問 がんの予防について、がん検診により死亡減少効果が60%～80%向上すると言われている。本市のがん検診受診の体制を整えて、がん対策の強化を。

問 県が平成18年に制定した「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」では、意識しているかどうかを問わず、障害者の移動を制限することなどは差別になると定義している。市役所庁舎はじめとした公共施設のバリアフリー化の現状と今後の方針は。

問 市の施設のバリアフリ化について、市役所庁舎、野菜福祉センターなど、一部の施設については車いす専用トイレがないなど、不十分な施設がありますが、比較的新しい施設や改修工事をした野菜総合支所等の施設については、バリアフリー化をしています。

問 障害者福祉施設は、障害者の程度や適正、本人の希望などを考慮して、生活能力向上のための自立訓練施設から、創作活動や生産活動を行う地域生活支援センターまで様々です。

問 市の福祉作業所「ほほえみ園」には、自力通所でいる障害者のみが入所していると聞くが、支援が必要な障害者も入所させることはできないか。

とはスポーツの振興を図る上で大変重要なと考えていますので、そのための環境づくりを進めたいと考えています。

また、特徴あるスポーツ振興計画として、住民主導による総合型地域スポーツクラブをスタートさせる計画を進めています。

問 がんの予防について、がん検診により死亡減少効果が60%～80%向上すると言われている。本市のがん検診受診の体制を整えて、がん対策の強化を。

問 県が平成18年に制定した「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」では、意識しているかどうかを問わず、障害者の移動を制限することなどは差別になると定義している。市役所庁舎はじめとした公共施設のバリアフリー化の現状と今後の方針は。

問 市の施設のバリアフリ化について、市役所庁舎、野菜福祉センターなど、一部の施設については車いす専用トイレがないなど、不十分な施設がありますが、比較的新しい施設や改修工事をした野菜総合支所等の施設については、バリアフリー化をしています。

問 障害者福祉施設は、障害者の程度や適正、本人の希望などを考慮して、生活能力向上のための自立訓練施設から、創作活動や生産活動を行う地域生活支援センターまで様々です。

問 市の福祉作業所「ほほえみ園」には、自力通所でいる障害者のみが入所していると聞くが、支援が必要な障害者も入所させることはできないか。